

# 4・28 沖繩闘争勝利、安保粉砕、日帝打倒、 4・14 安保＝沖繩大討議会

## に結集せよ！

法学部闘争委員会

経済学部闘争委員会

理工学部闘争委員会

商学部闘争委員会

三百余日にも及び日大闘争を歯牙として固執している星々の戯劇的學友諸君ノ如や、我々はうち續く皇國大學闘争のその一切の成果を踏み固め、4・28 沖繩闘争に革命的に大急進しなければならぬ。

沖繩と大争と安保のこの三拍が星人民の手に嵐のまうな動搖を巻き起こし、ありとあらゆる人民を二極に分解しつつある。即ち、革命か、アアミズム＝反革命か。日本の星土がこの二極に傾つて決定的に非和解的に、理論的實踐的武裝を開始しつつある。如や、一切总切の政治的問題は、七〇年安保粉砕・日帝打倒へ向けて恐るべき奮闘を開始しているのだ。

七〇年代が、階級闘争の熱期となり、連年の時代となることははや明白であろう。階級闘争の熱期には、帝國主義者と幾千幾万の労働者人民が一切のセシメンツを非和解をめぐり捲て、累力的な対決を繰返す。平和派には自分と家族の生活を守ることに星々の熱心に向つて、極めて用心深く生きていく労働者が、革命的ロマンチズムにめくれられた階級闘士として、生命を投げうって闘いの先頭に立つ時代でもある。かかる時代に生きていくことの自覺を我々にはければならぬ。

七〇年ハ安保期評。日帝打倒の學階級的斗争蜂起  
が、現実の日程にのぼつてゐるのだ。4・25津浦争  
還國争々しかしそれは遂して單なるありきたりの帝  
国主義の腐朽性への斗争という意味ではなく、プロ  
レタリアと、ありとあらゆる人民の未曾有の表現  
大衆を武装して組織的に暴徒へ夫起させるべく爆  
発へ！

日大、東大を頂点とする學國大學斗争は、それま  
での學國內改良主義の枠をそののみごとく突破し、  
大學斗争を日本階級斗争のその一大課題とするこ  
に成功した。昨日、日本皇土を席捲し學國百五〇万  
學生によつて任われでゐる八十數大學の斗争は、か  
かる政治的宮制高地になつて叫び抜かれてゐるので  
ある。そして現在我々に要求されてゐる課題は、こ  
の大學斗争を何に向けて解決するかということであ  
る。結論ははつきりしてゐる。日本帝國主義を打  
倒し、星プロレタリアート人民による革命を實現す  
ると云つ偉大な事業の中に大學斗争の眞の解決をは  
からなければならぬ。4。25津浦斗争の大爆発を  
大學斗争の延長線上に夢想してはならぬ。安保期  
評、日帝打倒の革命的立場なくして4・25の爆発を  
勝ち取ることは出来ない。

星マの學友諸君、4 25津浦斗争に向けて、我日  
大星共闘の鎖鉄の武装を勝ち取れ！  
4・14安保、25津浦大討議集結に結集し戦向態勢を  
つくりぬめよ！

日時、4月14日 正午より

場所、明治大學 學生会館 新館五階 一五一にて

講師、石田郁夫、藤村守、その他

主催、星・経・理上・商學部斗争委員会

共催、日本大學 學生会共闘部